

まちのくすりやさん 第35号

今回のおはなし

「脂肪肝に要注意！」

ザ・タバコ

Q&A



脂肪肝に要注意

肝臓病には多くの原因があります。B型肝炎・C型肝炎はB型、C型肝炎ウイルスにより引き起こされる疾患で、これらは慢性肝炎から肝硬変へと進行し、肝細胞がんへの道をたどる最も問題のある肝炎として知られています。しかし、最近では新しい治療法が開発され、進行や肝がん発生への抑止がある程度可能となりました。

一方、脂肪肝は最も頻度の高い肝臓病であり、進行しない肝臓病と考えられていました。もちろん脂肪肝は生活習慣病の一表現型であり、糖尿病や高血圧、動脈硬化などを合併していることが多く、治すべきであることは言うまでもありません。

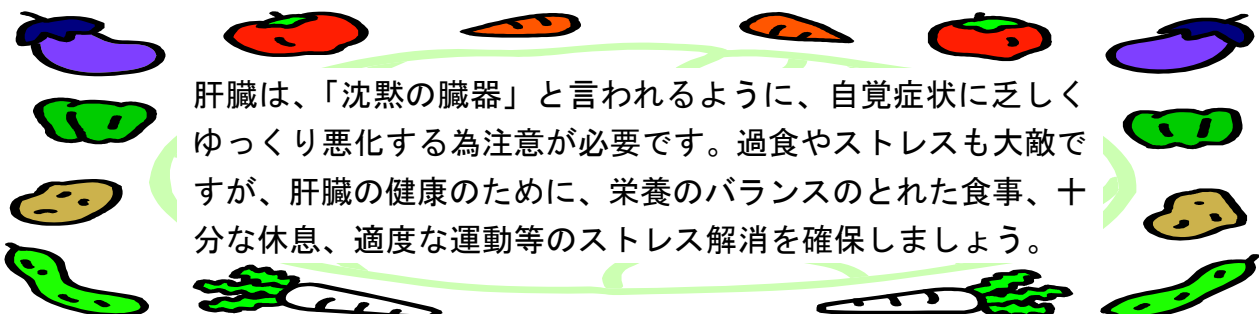
ところが、脂肪肝の一部（約10%）は、飲酒もしないのに、C型肝炎と同様に慢性肝炎から肝硬変、肝細胞がんへの道をたどる例があることが分かってきました。これを非アルコール性脂肪性肝炎（NASH、ナッシュ）と言います。最近の肝細胞がんの統計からみても、このNASHを基礎として発生する肝細胞がんが増加傾向にあります。

脂肪肝は、血液検査や超音波検査をすると、簡単に診断がつきますが、NASHの正確な診断には肝生検（肝臓の一部組織を針で採取する検査）が必要となります。肝生検なしの場合は、血小板の減少（20万個／ミュー以下）やヒアルロン酸の上昇などで、ある程度推定診断ができます。

治療は、食事と運動療法が主体です。NASHと診断された人は、より積極的な食事・運動療法に心がける必要があります。

脂肪肝の人で、どの人がNASHになるかは分かっていませんが、アメリカの例からみても、今後日本でも、NASHを基礎とする肝細胞がんが増えてくることは間違いありません。

肥満過栄養による脂肪肝は要注意です。たとえ、脂肪肝と診断されても決して軽視しないで、食事・運動療法で治すことが肝心です。



ガ・タバコ

子どもがタバコを吸うと何故いけないか？

1. 未成年者喫煙禁止法という法律で決められています。

(子どもにタバコを売った人は、罰を受けると決められています)。

2. タバコが習慣になりやすく、タバコを吸わずにはいられなくなるからです。

(ニコチンは強い依存性があります)。

3. 子どもの頃から吸い始めると、病気で死亡する危険性が大きくなるからです。

(子どもの頃からタバコを吸い始めると、肺がんで死亡する危険は、6倍になる)。

4. 体の中の酸素が足りなくなっていて、息切れしたり、運動中にすぐスタミナがきれる。

勉強に身が入らない！

(タバコを吸うと、一酸化炭素がすごい勢いでヘモグロビンと結びついてしまうためです)。



薬学生実務実習開始



薬学6年制第1期生が、平成22年5月から、薬局及び病院で、それぞれ11週にわたる実務実習が開始されます。

ご理解下さいますようお願い致します。

(社) 浦安市薬剤師会 〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812 (月~金: 10~15時)

Fax 047-355-6810

メールアドレス toiawase@urayaku.jp

ホームページ <http://www.urayaku.jp/>